

行ありて学生ならざるは国の用なり。智行共に備ふは国の財なり。智行共にかけたるは国の賊、国人の中の牛なり。法華經の許されなくして自由に四十余年の経々をならい行じて、生死をはなれんとをもう学者等は、自身謗法の者となる上、一切衆生皆謗法の者となるべき因縁なり。此の法門は震旦国に仏法わたりて二百年と申せしに、天台智者大師始めて一切経を料簡し給ひしやうなり。日本国には仏法始まりて二百余年と申せしに、伝教大師、天台の本疏三十巻をみて始めて此の義をあらわし給へり。此の義だにも実にして仏意にかなわば、四十余年の諸経の行者

と、彼の経々に依って法華經を全しとせざる諸宗の人々は皆謗法の因縁なり。

問うて云はく、一仏の名号には諸仏の功德はをさまらず。法華經の五字には諸経をさまるといふか。答へて云はく、爾なり。金ににたる石あり、又実の金あり、珠ににたる石あり、実の珠あり。愚者は金ににたる石を金とをもち、珠ににたる石を珠とをもち。この僻案の故に、又金に似たる石と実の金と、珠に似たる石と実の珠と勝劣をあらそう。世間の人々は何れを是という事をしらざる故に、或は多人のいうかたにつきて一人の実義をすて、或は上人の言について少人の実義をすつ。或は威徳の者のいうぎにつきて無威の者の実義をすつ。仏は依法不依人といましめ給へども、末代の諸人は依人不依法となりぬ。仏は依了義經・不依不了義經とはせいし給へども、濁世の衆生は依不了義經・不依了義經の者となりぬ。あらあら世間の法門を案ずるに、華嚴宗と申す宗は華嚴經を本として一切経をすべたり。法相宗・三論宗等も皆我が依經を本として諸経を積するなり。されば華嚴宗に人多しといえども澄觀等の心をいはず。彼の宗の人々諸経をよめども、たゞ澄觀の心をよむなり。全く諸経をばよまず。余宗又かくのごとし。澄觀等仏意にあいかなわば彼等又仏意に相叶ふべし。澄觀もし仏意に相叶はずば彼の宗の諸人又仏意に相叶ふべからず。一人妄をさえづれば諸人妄をつたう。一人まつり事をだやかならざれば万民苦をなすがごとし。当世の念仏者たとい諸経諸仏を念じ行ずとをもちども、道綽・善導・法然等の心をすぎず。若し爾らば道綽禪師が未有一人得者の積、善導が千中無一の積、法然が捨閉閣抛の四字謬りならば、たとえ一代聖教をそらにせる念仏者なりとも阿弥陀の本願にもすてられ、諸仏の御意にもそむき、法華經の其人命終入阿鼻獄の者とならん事疑ひなし。これ偏に依法不依人の仏の誓戒をそむいて、人によりぬる矢のいたすところなり。

問うて云はく、人に依る失ならばなんぞなんぢは天台・妙楽・伝教大師に依るや。答へて云はく、あえて天台・妙楽・伝教大師を用ひず。但天台・妙楽・伝教大師の引き給へる証文によるなり。例せば国ををさむる人、国の中のまつり事、三皇・五帝等の三墳・五典にて賞罰ををこなえば、聖人・賢人とはいわるれども、人を罰する罪によりて悪道にをちず。而るを重罪の者も愛するによりて軽罪にをこなひ、奉公あるものを悪むによりて賞せずなどあれば、現世には佞人ねいじんのなをとり、国やぶれ、未来にはあしき名にくをながすなり。これ偏に文書に依りて人によらず、人によりて文書によらざるによりて賢愚はいで来たるなり。当世の僧俗多くは人を本として経文を本とせず。或者云はく、日蓮は善導和尚にはすぐべからず、或は云はく、日蓮見るほどの